

新幹線プレス

2015年6月9日 No.227

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

はたしてこれで安全が保たれるの？

熱中症防止対策について緊急に申し入れる！

すでに情報等でお知らせしている通り、先月25日JR東海道線の運転士・車掌が乗務中に相次いで熱中症とみられる症状で病院に搬送されました。

新幹線地本としても幹鉄事と窓口折衝を行い新幹線職場における対応を確認したところ、「東海鉄事で起きたことなので幹鉄事として対策はとらない。」「体調不良になったら申告してください。」との信じがたい回答でした。

これから真夏に向けてさらに気温も高くなるなかで各職場での熱中症防止対策の確立が早急に必要であることは言うまでもなく、生命にも直結する問題であり体調がおかしくなってしまうからでは、はたして安全が保たれるのでしょうか？安全・安定輸送の確保のためにも熱中症の対策・改善が図られなければなりません。

このため新幹線地本は6月5日付けで下記の申し入れを行い、早急に協議の場を設け誠意ある回答を示すよう要求しました。

1. 運輸職場の熱中症防止対策について

- ① 運転士が列車を運転中に体調が悪くなった場合は停止手配を取り指令に報告するとなっているが、これは事象発生後の取扱いである。熱中症は人命にも関わり、また安全問題にもなるので熱中症防止についての考えを明らかにすること。
- ② 乗務員の夏制服を廃止し半袖のシャツを支給すること。
- ③ 制服の衣替えは期日に関わらず柔軟な対応をすること。

2. 駅職場の熱中症防止対策について

- ① 駅のホーム上は気温が高くなるので開襟シャツにすること。
- ② 駅係員はホーム上での仕事が長くなるので水分補給が可能な具体的な対策を立てること。

3. 車両所職場の熱中症防止対策について

- ① 屋根上作業中に熱中症になると転落事故につながるため全ての番線のパンタグラフ点検個所にスポットクーラーを設置すること。

4. クールビズを奨励することをこの間要求に出しているが、頑なに拒んでいるが理由を明らかにすること。

5. 業務中の熱中症は労働災害ある。会社は責任を持って対策を立て防止するべきである。会社としての考えを明らかにすること。

快適なサービスの提供のためにも、熱中症対策は絶対に必要です！！